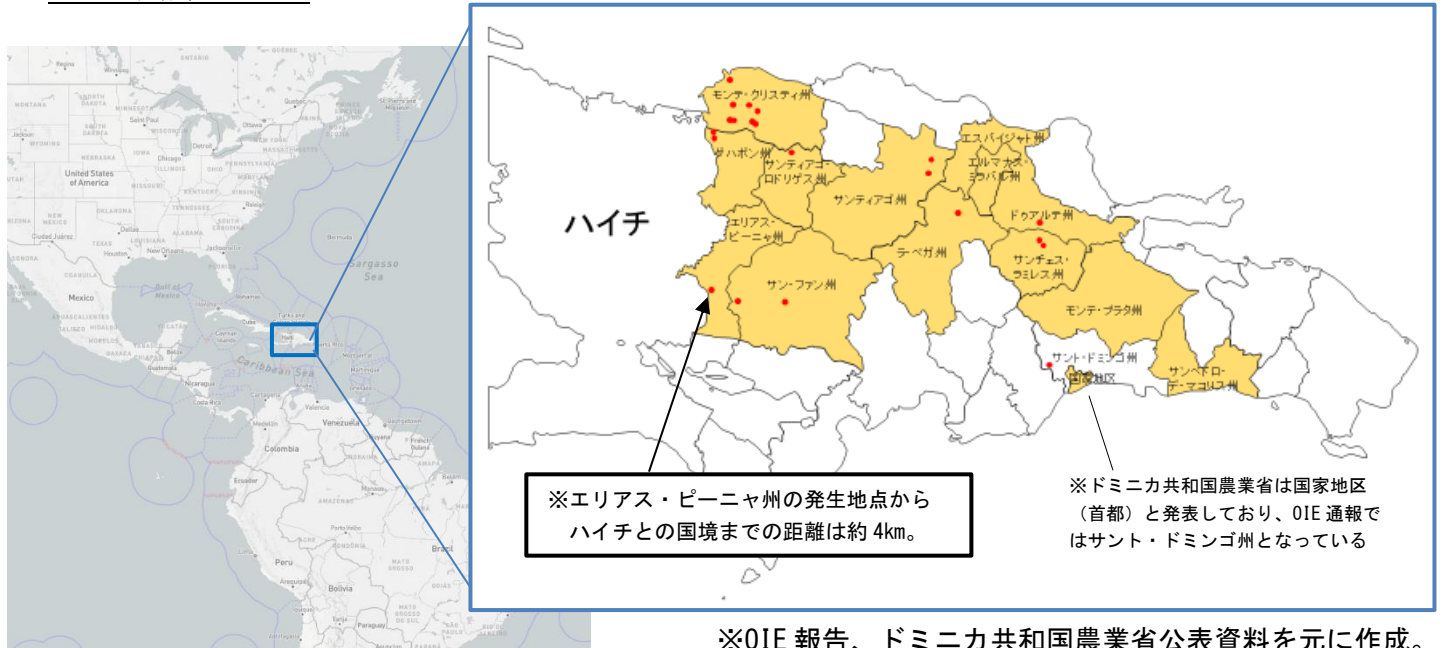


ドミニカ共和国におけるアフリカ豚熱（ASF）発生について

※下線部は更新点

- 本年7月28日（現地時間）、米国農務省は、ドミニカ共和国においてASF発生が確認されたと発表した。既存の共同監視プログラムを通じて、ドミニカ共和国の豚から採取したサンプルでASFを確認したとのこと。本件について、7月30日（現地時間）付で、OIEに通報された。
8月8日付でOIEに追加報告があり、発生農場の一部について詳細が判明するとともに、初発日が4月10日であると判明した。また、8月10日、ドミニカ共和国農業省は、14州で発生が確認されていると発表した。
- 7月30日付OIE通報によると、7月1日にモンテ・クリスティ州の共同型裏庭農場の豚（月齢及び性別の異なる豚842頭飼養）及び7月14日にサンチェス・ラミレス州の裏庭農場の豚（月齢及び性別の異なる豚15頭飼養）で、ASF陽性となった。殺処分は終了しており、現在、国内における豚の移動制限等の防疫措置が講じられている。発生の原因は現時点で不明としている。
- 8月8日付OIE通報によると、最初の発生は4月10日、ラ・ベガ州の裏庭農場の豚（209頭飼養）であった。
また、今回発生したASFの遺伝子型は、ユーラシアで流行している株と同じく2型であった。
- 中米では過去、1971、1980年にキューバ、1978年にドミニカ共和国、1979年にハイチで発生があり、その後、1980年代中盤に撲滅された（OIE通報によると、ドミニカ共和国における過去の最終発生は1981年4月）。1978年のドミニカ共和国での発生の原因は、スペインからの航空機の残飯によるとされている。
- なお、我が国は豚熱（CSF）の発生を理由にドミニカ共和国からの豚肉の輸入を禁止している。

発生場所の地図



※OIE 報告、ドミニカ共和国農業省公表資料を元に作成。
※黄色は発生州。発生地点が判明しているものは赤丸。

出典

米国農務省プレスリリース

https://www.aphis.usda.gov/aphis/newsroom/news/sa_by_date/sa-2021/asf-confirm

OIE-WAHIS

• <https://wahis.oie.int/#/report-info?reportId=36844> (7月30日付け報告)

• <https://wahis.oie.int/#/report-info?reportId=37473> (8月8日付け報告)

ドミニカ共和国農業省プレスリリース

• <https://agricultura.gob.do/noticia/plan-contingencia-sanchez-ramirez-erradicacion-pestes-porcina-africana/> (8月2日)

• <https://agricultura.gob.do/noticia/gobierno-grantiza-compensacion-economica-cerdos-sacrificados/> (8月2日)

• <https://agricultura.gob.do/noticia/plan-contingencia-erradicacion-pestes-porcina-africana/> (8月4日)

• <https://agricultura.gob.do/noticia/agricultura-y-el-banco-agricola-pagan-rd39-7-millones-a-porcicultores-de-sanchez-ramirez/>

(8月10日)